

## 高齢者を対象としたうつ予防事業【山形県天童市】

### ＝高齢者個別ケア事業＝

(実施期間) 平成24年度 (基金事業メニュー) 対面型相談支援事業  
 (実施経費) 平成24年度 402千円 (実施主体) 山形県天童市

#### 【事業の背景・必要性・目的】

平成19年度から2年間、県主催の市町村うつ病予防対策事業として、共同で高齢者にうつのスクリーニングを行なった。その後、市の単独事業として対象地区を移しながら継続実施してきた。こころに特化した介入により、地域や家族との関係性など、地区毎に高齢者の心理的背景が明らかになり、宅地開発による転入が多かった天童市の地区診断としての有効性も併せ持っていると考えられた。高齢者のこころの健康の保持増進のため、地区を設定し、家庭訪問等個別の支援活動を通じ、高齢者の孤立防止、主体的な健康増進、あわせて、地域でメンタルヘルスへの関心を高め、相談先をアピールすることで、自殺予防に資することを目的とする。

#### 【地域の特徴・自殺者数の動向】

県都山形市に隣接し、交通アクセスも良く、雪国山形県において降雪量が最も少ない地域である。市制施行以来、都市計画により人口増加を図ってきた。

| 総人口    | 年齢3区分別人口  |            |           |
|--------|-----------|------------|-----------|
|        | 年少(0～14歳) | 生産(15～64歳) | 老年(65歳以上) |
| 62,457 | 8,483     | 38,541     | 15,433    |

平成13年頃から、自殺は天童市の死因順位の6～7位に位置している。  
 平成18年から22年の5年間の人口10万対の自殺死亡率は25.8であり、17年までの5年間に比べ5ポイント増加している。  
 (出典：H24.10.1天童市統計)

#### 【事業目標 事業内容】

目標：こころの健康づくり、うつの早期治療、こころの相談窓口に関する普及啓発に努め、こころの健康について積極的に話し合える地域づくりをすすめる。個別の介入と同時に、地域への「こころの健康」の普及啓発を行なうことで、高齢者から同居家族である若い世代への伝播を期待している。

内容：調査地区を設定し、介護予防のために送付している「健康自立度に関する調査票」を利用し訪問対象者を選定する。

調査地区の市立公民館や民生委員に事業について情報提供、地区の高齢者教室を市立公民館と共催、こころの健康講座を開催、住民に対する普及啓発を行う。



#### 【事業実施にあたっての運営体制】

健康課が主体となり、社会福祉課（介護予防担当）と共同で事業を実施。訪問従事者は、2課の保健師、看護師のほか在宅保健師とし、事前研修を行い、事業にあっている。

**【事業の工夫点】**

昨年度までは、公民館健診受診者に対する調査、支援を行なってきたが、介護予防の調査票が全体への郵送形式に変わったことを受け、本事業も地区全体への介入が可能となった。公民館健診等、保健事業参加者以外への支援のきっかけとすることができた。

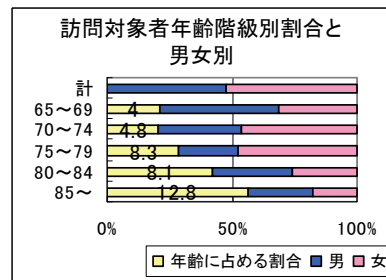
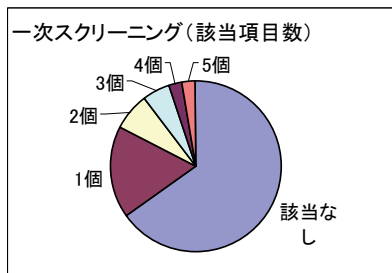
また、これまで県の調査に倣って使用していた SDS（うつ性自己評価尺度）の必須使用をやめ、「介護予防マニュアル改訂版」「うつ予防・支援マニュアル（改訂版）」を活用したスクリーニング方式とした。ただし、うつ状態が強く疑われるケースについては SDS を使用し、県精神保健福祉センター医師の助言を得ることができるよう了解を得たうえで事業を開始している。

**【事業成果、その他特筆すべき点】**

「健康自立度に関する調査票」郵送者数 1,237 人 ⇒ 1 次スクリーニング対象者数（情報提供同意あり）736 人

① 1 次スクリーニング

問題なし 478 人（64.9%） 陽性項目選択者 258 人中、訪問対象者（3 項目以上選択者）76 人（10.3%）  
 訪問対象者の年齢階級は 85 歳以上が 12.8% で最も多い。性別は男性 36 人、女性 40 人で、大きな差はなかった。



② 2 次スクリーニング（訪問）結果

- ・ 訪問実施率 80.3%
- ・ 問題なし 45 人（73.8%）、経過観察 2 人（3.3%）、要医療 0 人、治療中 10 人（16.4%）、その他（本人不在等、うつに関する情報確認ができないもの）4 人（6.5%）
- ・ 訪問実施者の 25% が抑うつ気分や、興味・喜びの消失気分を抱えていた。その理由として本人の病気が半数を占めた。次に家族の病気や死亡 26.6%、家族関係に関することが 13.4% であった。
- ・ 訪問実施者の 95% が、何らかの通院治療を受けていた。疾病別では、循環器系が 65% で最も多い。
- ・ 睡眠に関する服薬をしている人は 21 人 35%。薬を精神科から貰っているのは 28.6%、精神科以外からは 71.4% であった。
- ・ 調査地域の特性として、2 段階にわたる都市計画により、地区編成が変更されるなど、居住年数の差が大きい。戸建て住宅と集合住宅（低所得者住宅を含む）が混在していることも、近所づきあいや、地区活動への参加層に影響していると考えられ、交流が盛んな区域と、そうではない区域がある。
- ・ 緊急性のあるケースはなかったが、身体的疾患の悪化により、今後への影響が推測されるケースがあり、介護担当への情報提供により、支援の継続性を図った。
- ・ 地域への普及啓発のため、対象地区の民生委員に、事業前にこころの健康づくり事業全般についても説明し、事業後に調査結果の報告を行なった。

(問合せ先) 天童市健康福祉部健康課  
TEL:023-652-0884  
E-mail:kenkou@city.tendo.yamagata.jp  
URL : <http://www.city.tendo.yamagata.jp>